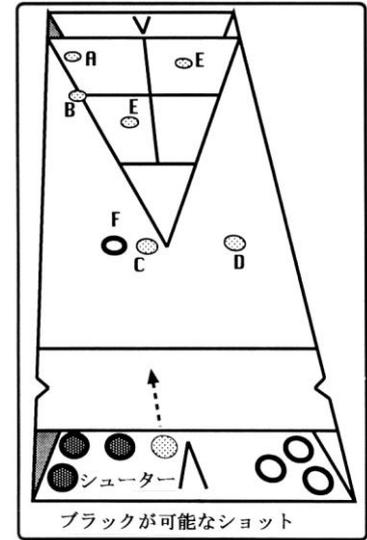


私はこのコラムを書かないほうがよいのかも知れない。私のパートナー達は私を叩きのめし、私を信頼しているトーナメント・レベルの読者は私が鈍くなったと思うであろう。私は65年間シャフルボードをプレーしてきて、何時もクリア・ザ・ボードをしているのに、うんざりしたのかも知れない。私は対戦相手が置いたセントピートをクリアしないで、プレーする方法を研究している。ゲームに勝つ戦略はクリアであることを知っているが、クリアしないで、楽しむ方法があるかも知れない。

対戦相手のイエローが、おきまりのセントピートを置いた。セントピートへの対応5つを、図に示す。

**対応 A** 7エリアに得点する「スーサイド・アレー・ショット」だ。私はこの戦術に賛成しない。例えそれがうまくいっても、イエローもセントピートの背後に隠すので互角だ。次にブラックが2つ目を隠そうとする7エリアのスペースは小さく、「自殺の裏通り」の名前どおり、キッチンに入る恐れがあるのに対し、イエローには、2つ目を隠すもっと大きいスペースがある。



**対応 B** スーサイド・アレーを通して、7エリアの手前にわざと置いたショットだ。イエローは多分セントピートの背後の7エリアに隠すので、ブラックはBに置いたディスクを突いて、イエロー7と入替え、ひょっとしたらそれをキッチンに入れることを期待する。

**対応 C** イエローが隠すルートブロックするフィル・インだ。多くの可能性がある。セントピートよりも深い位置にディスクを置いて、次のショットで突いて得点させる。

**対応 D** イエローが置いたセントピートに、ブラックがセントピートを置いて対応する。プレーヤー2人がディスクを隠し続ける。ブラックが成功する秘訣は、最初のハイドを、2番目のハイドのスペースを空けておくように、深い位置に置くことと、ハンマーを、イエローのハイドを取除くのに使うことだ。ディスクを、ブラックが2回だけ隠す必要があるのに対して、イエローは3回隠さなければならない。その結果、ブラックがハンマーをシュートする時には、イエローのハイドの1つがまる見えで、そのディスクを、イエローの他の得点ディスクを取り除くのに利用できるかも知れない。

**対応 E** 単に、ボード上に得点する。得点の位置を図に2箇所示した。これは、リードされているプレーヤーが、追いつくために使うキッチンベイトの戦術だ。しかし、ブラックが、リードしている時にこれを使って勝つためには、その後で、非常にうまく戦わなければならない。